

9月号

ひかりっこ

令和4年9月1日
卸町光の子保育園

9月の行事予定

- 3日(土) 夏まつり
- 6日(火) 3, 4, 5歳児親子遠足
- 7日(水) 3, 4, 5歳児親子遠足
- 8日(木) 3, 4, 5歳児親子遠足
- 10日(土) AM 親子のつどい(きらきら)
- 17日(土) 親子レクリエーション(3歳以上児)
- 15日(火) 総合訓練(消火・避難訓練)
- 24日(土) 午前保育協力日、菅生活動日

10月の行事予定

- 2日(日) 菅生活動日(稲刈り・芋煮会)
*新型コロナウイルス感染症の状況次第で変更になる場合があります。
- 6日(水) 内科健診(予定)
- 15日(土) 菅生活動日
- 21日(金) 親子遠足 2歳児げんきっこ(菅生)
- 22日(土) 親子のつどい 0歳児ぴよぴよ
- 25日(火) うたごえコンサート(オペラ鑑賞)
仙台オペラ協会の方たちが来園し、素敵なたごえを聞かせてくれます♪
- 29日(土) 午前保育協力日
9:00~11:00 全体保護者会(Zoom)
10:00~12:00 入園事前説明会
*令和5年4月入園をお考えのご家庭向けに、多目的ホールで行います。お知り合いに入園希望の方がいましたらお声がけください。担当:村上

3, 4, 5歳児混合の親子遠足です。親子、異年齢の仲間たちと、菅生の秋の自然を満喫したいですね!どの日に該当するかは送迎票付近に掲示していますのでご確認ください。雨天でも決行の予定です。詳細については、8月29日に送信した、おがスマメールをご確認ください。

今年の、親子レクリエーションは、午前中、園庭で行う予定です。詳細は決まり次第、おがスマメールでお知らせします。

子育て支援 ~縁側かふえのご案内~

9月6(火)、8(木)、
13(火)、15(木)、
22(木)、27(火)
10月4(火)、6(木)、
13(木)、18(火)、20(木)、
25(火)、27(木)

延期していた全体保護者会を、10月29日(土)にZoomで行います。事前に、出欠確認と共に、ご意見、ご質問等をGoogleフォームで取らせていただく予定です。よろしくお願いいたします。



~お知らせ&お願い~

☆プールは片づけましたが、暑い日は水遊びをしますので、3歳以上児は引き続き、水着とシャワータオルの準備をお願いします。

☆土曜保育の予約について

土曜保育希望の方は、職員体制や食材の発注の都合上、利用する土曜日の週の水曜日 9時までに予約をしてください。おがスマからの予約も用紙記入と並行してお願いします。おがスマでの予約が浸透してきましたらおがスマのみでの予約にしていきたいと思えます。

☆お休みの連絡と登降園の時間について

毎朝9時半には子どもの出席の最終人数を確認し台所に食数を報告していますので、遅くとも9時15分までにはおがスマから欠席連絡をお願いします。また、9時までの登園をお願いしていますが、登園が遅くなる場合もお知らせください(おがスマの遅刻欄又は電話連絡等)。

☆セコムカードの扱いについて

万が一セコムカードを紛失した際は、防犯上カードが発見されるまでの期間、カード機能を止める対応を保育園でしますので、必ずお知らせ下さい。

☆ティッシュ、布巾、雑巾の回収をします!!

入園のしおりや、4月の園だよりでもお知らせしていますが、年2回ティッシュ等を回収させていただきます。布巾1枚、ティッシュ2箱、雑巾2枚のご協力をお願いします。送迎表付近に回収箱を用意しますので、9月10日(土)まで持参をお願いします。また、送迎表にチェック表を掲示しますので、持参したご家庭は○をつけて下さい。

ここ数年「夏らしさ」を感じる時期が少しずれているように思います。6月は晴天が続き気温が高く梅雨らしくない。7～8月は雨が長く続くことが多く不安定。そのような中、週間天気予報ではあやしかったものの4・5歳児クラス合同で実施した「川遊び」は夏らしい天気にも恵まれとても楽しい一日でした。急な呼びかけにもかかわらず21人の保護者が引率して下さったこともあり事故もなく参加した全員が「楽しい～」と思えた活動だったと思います。引率して下さった保護者だけでなく快く子どもを参加させて下さった保護者の皆さん心よりありがとうございます！！

毎年のことですがこの時期になると就職を見据えて見学・ボランティアに来る学生が園に来てくれます。先日来たある学生さんが帰るときに「驚きました」とまゆみさんに教えてくれたエピソードを紹介します。〈子ども達の遊びの様子を見ていた時の出来事です。目の前で遊んでいた二人の男の子。しばらくすると口喧嘩が始まりました。だんだんエキサイトしていきます。学生さんは心の中で『どうしよう・・・介入すべきか・・・でも、子ども同士のケンカはむやみに止めちゃいけないと習ったし・・・』すると突然片方の男の子が相手の顔を手で「ガリッ！」と引っ掻いてしまいました。「あっ！しまったどうしよう」と小さく言葉に出てしまい動揺していると、その一部始終を近くで見ていた一人の男の子が近づいてきて次のようなことを言ったそうです。「大丈夫。心配なくていいよ。お姉さん光の子に来たの初めてでしょ？自分たちで解決できるから」・・・〉私はまゆみさんから聞いたその話を家で妻にすると「プッ！」と口に入っていたものを噴き出し笑っていました。その学生さんのエピソードを聞いた千咲さんは次のような出来事を教えてくれました。〈ある時、千咲さんが男の子から攻撃され（千咲さんは「攻撃」とは言ってませんが）ダメージを受けて動けないでいると、一人の女の子が絵本を持ってきて千咲さんに近づき寄り添いながらその絵本を読み始めました。『どうしたんだろう急に？』と思いながらその女の子の様子を見てるとどやらダメージを受けた千咲さんを心配しているようなので「千咲のこと心配してくれてるの？」と聞くと『こくり』とうなずいたそうです・・・〉3歳児の女の子です。どちらの話も面白いですね～園の生活の中にはこのような面白い話が沢山あるようです。ちなみに私は去年1歳児クラスの男の子に突然「園長、どうした？大丈夫」と声を掛けられました。何か考え事をしていて難しそうなお顔をしていたのかもしれませんが。厚生労働省は改定した保育所保育指針で「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を記しました。その一つ「道徳性・規範意識の芽生え」の原文には「友達との様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる・・・」とあります。就学前の子ども達にはこのような姿が見られるようになるそうですがどうでしょう？5歳児の男の子も3歳児の女の子も相手をの気持ちを思いやり、相手の立場に立って行動しているのではないのでしょうか？

これからは親子レクレーションや稲刈り等大きな行事が控えてますが、先日ある職員から「園長このエピソードをひかりっこで伝えて！」と頼まれたのでお話しします。行事の際の保護者による写真とビデオ撮影についてです。5～6年前迄は行事の際の保護者による撮影については「子ども達は自分が頑張っている姿をとにかく見てほしいと思っている。時には大きな声名前を呼んで、時には拍手をしながら応援してほしいのでファインダーを覗くのではなく、両手に何も持たずとにかく自分の子どもだけを見てください」と言う思いから「撮影禁止」を強く訴えていました。しかし、信念もなく流されやすい（よく言えば柔軟な考え方、多様性がある。そもそも些細なことでも人からとやかく言われることが嫌なの）に人とやかく言える筋合いはない）と私はいつの間にか『まあ写真くらいいいじゃん』と思うようになり、最近は「どうぞご自由に」となっていました。ところが去年の親子レクレーションの際こんなことがありました。〈そのお母さんは仕事で来れないお父さんに子どもが一生懸命走っている姿を見せてく声を出さず撮影に集中してしまいました。走り終えた子どもはお母さんに向かって泣きながら「なんで応援してくれなかったの！なんでちゃんと見てくれなかったの！」と訴えたそうです。お母さんはその時なんで子どもが望んだでいることをしてあげなかったのかと後悔していると保育士に伝えました〉・・・私も後悔しました。「保護者（おとな）の気持ち」を優先し「子どもの気持ち」をおろそかにしていたようです。子どもが望んでいる事ではなく、おとながしたいことを優先させてしまった、と。いつでも失敗はします。でも失敗したからわかること、失敗しなければわからないことがあると思います。このことがあったからと言って「写真撮影はご自由に」と言う気持ちは変わりません。遠くに住んでいるおばあちゃんに見せたい、入院している家族に見せたい等、様々な理由があると思うからです。やむを得ない理由で両親そろって参加できない場合は職員や自分の子どもが出番でない他の保護者に「撮ってもらえませんか？」とお願いするのもいいと思います。また、去年の親子レクレーションの時には楽しそうに仲の良い家族同士でビールを飲みながら参加されていた方がいらっしゃいましたがそれも勿論「どうぞご自由に」です。みなさん「おとな」なんですから私がとやかく言うことではありません。子どもの前で保護者同士が楽しく過ごすことは子どもにとってはいいことです。

最後になりますが先日「園でのマスク着用」について一人の保護者から次のような内容のお手紙を頂きました。〈子ども、保護者、職員等の園関係者が行事や登降園の際に「マスクをする・しない」についてはそれぞれの意思が尊重され、してもしなくても差別されないようそれぞれが自由に決定できるように要望します〉マスクの有効性についてはそれぞれの考え方があります。私は園にいるときや外出する際も建物やエレベーター等の密室以外ではマスクはしません。別にそのことを声を大にして「みんなもそうしろー！」と訴えるつもりはありません。手紙を書いた保護者の考え方は十分理解できます。でも私が皆さんに言えることは「どうぞご自由に」だけです。「お役所」からは「職員のマスク着用は感染症予防のため着用を【励行】すること」と言われていますが、そもそも【励行】という言葉がよくわからないのです。よくわからないので調べたら「努力してそうすること。その決めに破らないようにつとめること」と書いてありました。調べても理解できませんでした。パンデミック3年目に突入しました。自分で考えそれぞれ行動すればいいんじゃないでしょうか？おとななんだから。

園長 千葉晃嗣